

和漢薬の 科学基盤 形成拠点

平成24年度共同研究報告セミナー

日時：平成25年3月5日(火) 9:30～15:40

会場：富山大学 和漢医薬学総合研究所
民族薬物資料館3階会議室

問合せ：富山大学 医薬系事務部 研究協力グループ
076-434-7684

和漢薬を活用した
全人的医療の確立へ

富山大学和漢医薬学総合研究所は、中核的研究拠点として「天然薬物の資源の確保と保全及び和漢薬の標準化」「和漢医薬学の基礎研究の推進及び西洋医学との融合」「和漢医薬学研究の中核的情報発信拠点の形成」をテーマに、関連研究機関との共同研究を推進しています。

免疫修飾作用を有する漢方薬の樹状細胞機能に対する作用の解明

腸管免疫系に対する漢方薬の作用の解析-補中益気湯と葛根湯を例にして-

アルツハイマー病の記憶障害を改善する海洋天然物の探索

国内で繁用される鉱物性生薬に関する資源調査

次世代シーケンサーを用いたウコンのトランスクリプトーム解析

イメージング質量分析による生薬の新規品質評価技術の開発

メタボロームデータと抗炎症活性を指標にした栽培カンゾウの品質評価

生活習慣・ストレスに起因する認知情動行動障害に対する和漢薬の作用解明

抗がん剤起因性腸炎に対する大建中湯、紫苓湯および関連方剤の効果に関する研究

腎癌細胞の運動抑制効果を有する生薬エキス及び生薬含有化合物の探索

筋肉減少症の予防・改善作用を有する漢方方剤の探索と有効性の解析

東西医薬融合による癌治療並びに末梢神経障害軽減へのエビデンスの構築

主催



富山大学

和漢医薬学
総合研究所

平成24年度 共同研究報告セミナー

スケジュール

9:30 開会挨拶

共同利用・共同拠点代表者 済木 育夫 (和漢医薬学総合研究所長)

座長:小泉 桂一

9:40 ■ 一般研究 I

免疫修飾作用を有する漢方薬の樹状細胞機能に対する作用の解明

代表者: 福井 宜規 (九州大学大学生体防御医学研究所 教授)

研究分担者: 門脇 真 (消化管生理学分野 教授)

10:00 ■ 一般研究 I

腸管免疫系に対する漢方薬の作用の解析-補中益気湯と葛根湯を例にして-

代表者: 清原 寛章 (北里大学生命科学研究所 准教授)

研究分担者: 山本 武 (消化管生理学分野 助教)

10:20 ■ 一般研究 I

アルツハイマー病の記憶障害を改善する海洋天然物の探索

代表者: 酒井 隆一 (北海道大学大学院水産科学研究院 教授)

研究分担者: 東田 千尋 (神経機能学分野 准教授)

10:40 休憩

座長:梅崎 雅人

11:00 ■ 一般研究 I

国内で繁用される鉱物性生薬に関する資源調査

代表者: 三宅 克典 (金沢大学医薬保健学域薬学類 助教)

研究分担者: 伏見 裕利 (民族薬物資料館 特命准教授)

11:20 ■ 一般研究 I

次世代シーケンサーを用いたウコンのトランスクリプトーム解析

代表者: 金谷 重彦 (奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科 教授)

研究分担者: 田中 謙 (生薬資源科学分野 准教授)

座長:数馬 恒平

11:40 ■ 一般研究 I

イメージング質量分析による生薬の新規品質評価技術の開発

代表者: 平 修 (北陸先端科学技術大学院大学 助教)

研究分担者: 朱 妹 (生薬資源科学分野 助教)

12:00 ■ 一般研究 I

メタボロームデータと抗炎症活性を指標にした栽培カンゾウの品質評価

代表者: 原田 和生 (大阪大学大学院薬学研究科 助教)

研究分担者: 小松 かつ子 (生薬資源科学分野 教授)

12:20 昼食

座長:東田 道久

13:30 ■ 一般研究 I

生活習慣・ストレスに起因する認知情動行動障害に対する和漢薬の作用解明

代表者: 岡 淳一郎 (東京理科大学 教授)

研究分担者: 松本 欣三 (複合薬物薬理学分野 教授)

13:50 ■ 一般研究 I

抗がん剤起因性腸炎に対する大建中湯、紫苓湯および関連方剤の効果に関する研究

代表者: 加藤 伸一 (京都薬科大学薬物治療学分野 准教授)

研究分担者: 林 周作 (消化管生理学分野 助教)

14:10 ■ 一般研究 I

腎癌細胞の運動抑制効果を有する生薬エキス及び生薬含有化合物の探索

代表者: 村田 純 (秋田県立大学生物資源科学部 教授)

研究分担者: 横山 悟 (病態生化学分野 助教)

14:30 休憩

座長:久保山 友晴

14:50 ■ 一般研究 I

筋肉減少症の予防・改善作用を有する漢方方剤の探索と有効性の解析

代表者: 井上 誠 (愛知学院大学薬学部 教授)

研究分担者: 渡辺 志朗 (拠点事業推進室/栄養代謝学分野 准教授)

15:10 ■ 一般研究 I

東西医薬融合による癌治療並びに末梢神経障害軽減へのエビデンスの構築

代表者: 倉石 泰 (富山大学大学院 医学薬学研究部 教授)

研究分担者: 済木 育夫 (病態生化学分野 教授)

15:30 閉会挨拶

和漢薬の 科学基盤 形成拠点

日時: 平成25年3月5日(火)
9:30~15:40

会場: 富山大学和漢医薬学総合研究所
民族薬物資料館3階会議室

主
催



富山大学
和漢医薬学
総合研究所

連絡先: 富山大学研究協力グループ
076-434-7684